



ナトキン 相談室だより(2)



座間市立栗原中学校
スクールカウンセラー
きたお みやうち
北尾・宮内

スクールカウンセラーのしごと

スクールカウンセラーは、各中学校に一人もしくは二人配置されています。たいていは、臨床心理士か公認心理師の資格を持っている人が担当しています。

スクールカウンセラーは、①生徒の様子を見たり、話を聞いたりする②保護者の相談にのる③先生と話し合いをする④必要な場合は、学校以外の専門機関(医療や教育、福祉機関)に生徒や保護者をつなげる、といったことが主なしごとです。

先生は、教育の専門家ですが、スクールカウンセラーは心の専門家です。その人の困りごとや悩みごとなどの背景に、どんな気持ちや問題がかくれているのか、本人や保護者といっしょに考えます。

たとえば、「学校へ行けない」生徒がいた場合、①どうしてそんなふうになってしまうかについて気持ちに寄り添い話をきく②保護者には、家での様子、子どもに対する悩みや心配事、性格や発達の特長はないだろうかなどについて話をきく③担任の先生には、クラスでの様子、学習や友だち関係はどうかなどについて話をききます。

そして、どうしたいと思っているか、どうしたら学校へ来れるだろうかなど、生徒本人の気持ちを大事にしながら、無理なくいきいきと生活していけるように話し合い、良い方法を見つけていきます。

話をきくときに気をつけていることは、目の前の生徒や保護者の気持ちをありのまま感じようとすることです。人の悩み事をきいてつらくならないね、といった質問をよく受けますが、その人に共感し理解することに集中できれば、それほどつらくはありません。

そして、話してよかったと言ってもらえたり、生徒が笑顔でいきいきと生活している姿をみるのが、スクールカウンセラーの喜びでありやりがいでもあります。

話をしてだれかにきいてもらうと①気持ちがらくになる②気づきがえられて心の整理ができる③自分への理解が深まる④頭が活性化され成長がうながされるなど、良いことがいっぱいあります。悩み事以外にもいろいろな話をいっしょにできればいいなと思っています。



ナトキン相談室開室日は毎週火曜日
と木曜日です。お待ちしております♪

直通電話：046-256-7227

